

2018年 4月 9日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 ArrowArrow
代表者・役職名 氏名 堀江由香里 ・代表理事

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

多摩地域中小企業の新しい働き方を知ろう! つくろう!

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

堀江が学生の就活時期に、友人が内定の企業を断った。その理由が結婚しても続けられそうもない会社であることに驚く。調べてみると、対象企業に限らず多くの女性が「結婚・妊娠・出産・介護を理由に退職している」という現実と直面。人材派遣企業、NPO 法人フローレンス後にスピンアウトし2010年にArrowArrowを設立。会員数10名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

地域中小企業の経営者にヒアリングした際、現状採用について課題があると聞く。「採用費をそもそもかけられない」「いい人がなかなか来ない」新しい人を採用するにハードルがあがっている。1日4-5時間週2-3日で働きたいと思っている子育て中の女性と地域企業とを職場体験を通して再雇用につなげる仕組みを作り双方の希望とマッチングした結果が見えた。「1日8時間、週5日」という固定化した働き方だけではなく新しい働き方を通してそれぞれの希望と強みを生かしながら良い雇用を発信していきたい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- 1) 多摩地域で新しい働き方・採用の仕組みを取り入れた企業をリサーチ/インタビュー
新しい働き方や採用とは当法人が行ったママインターンやシェアワーク・テレワークなど時間や場所を超えた働き方など、これまで固定化された働き方の概念を壊した取り組みをしている企業を調べ経営者及び実践者に話をきく
- 2) インタビュー内容はwebメディアを使って見える化
紙媒体では限られた人しか見られなくなりクローズドになるのでオープンなメディアにし情報発信をする
- 3) 多摩地域中小企業と取組みたい企業、興味ある個人との座談会イベント
インタビューを行った企業とそれらに興味がある人たちとを繋げ、地域での雇用を考える場を企画・発表

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- 【結果】・インタビューを多摩地域中小企業5社の経営者に実施できた。・webにてインタビューを掲載できた。・関連する企業と個人とを繋げる座談会が開催できた。・座談会の参加者4名
- 【成果】インタビューを得て各会社の新しい取り組みが継続であることの確認できた。その後対象企業内で短い時間で働き始めた人がパートから正社員として働くことに移行したことを知れた。座談会参加後に子育てしながら働き始めようとした参加者が就業を決定した。
- 【社会的な変化・効果】今回のインタビューをした企業が当法人と共にメディアに取り上げられた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

座談会の参加者が少なかったことは課題に上がる。ただ、今回のインタビューの記事を掲載したことや座談会の広報をしていく中で、多くのリアクションを一般の人たちから反応を得ている。「このような企業地域にあることを初めて知った」「座談会にいきたかった」「詳しく話を聞いてみたい」このような人が多数いたこともわかった。地域の中小企業でも働き方を変えている企業があること、それによって働き手と企業側とに良いサイクルが生まれている

こと、それが改めて理解でき、このような地域の企業と個人との新しい動きを今後も広げていけたらと考えている。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり



